



3/25月稼働

AI搭載 新型MRI 導入します!

最大50%撮影時間の短縮

画質は同等のまま、MRI検査時間の全体を短縮

時間短縮 3D→50%前後 2D→30%前後

▼ Compressed SENSEを使用したMRIと従来MRIの比較



従来 SmartSpeed AI
3D FLAIR 1.2×1.2×1.2mm 6min8sec
3D FLAIR 1.2×1.2×1.2mm 3min2sec

50%以上
時間短縮

最大60%の高空間分解能

同じ撮像時間で、空間分解能が最大約64%向上

▼ Compressed SENSEによる撮像と従来撮像による画質の比較



0.8mm×0.9mm×3.0mm 撮影時間4min56sec
0.4mm×0.4mm×3.0mm 撮影時間4min56sec

4.5倍
高分解能化



地域医療機関向け広報誌 ジェネラルリンク

GENERALINK

総合病院の総合(GENERAL)と、連携(LINK)を組み合わせた造語になります。私たち神戸百年記念病院は、「地域になくてはならない病院になる」という理念のもと、地域の医療を共に支えるために、相互連携していきたいと強い想いを込めて作成しました。

2024.03
10

特集

循環器病センターの低侵襲治療について ～循環器病センターの設立から現在まで～



GENERALINK Web

オンライン連携会

2024

4.23

19:15～19:45

Zoom Webinarを使用した
オンライン形式

本会は日本医師会生涯教育講座の単位取得が可能です。

日本医師会生涯教育カリキュラムコード

▶「73:慢性疾患・複合疾患の管理」0.5単位

講演

神戸百年記念病院循環器病センター
発足から4年目
～現状のご紹介(TGCV:中性脂肪蓄積
心筋血管症の話題も含めて)～

循環器内科 部長 循環器病センター副センター長 水口 幸生

TGCVを含めて、
当センターについて詳しくお話し
します。ぜひご参加ください!!



お申込み方法

下記QRより、参加応募
フォームの登録をお願いします。



締切▶4月22日(月)まで

編集後記

3月が過ぎ去り、4月の足音が聞こえてきました。今年の冬は積雪もほぼなく、暖冬そのものであったかと思えます。梅の花が咲き、もう少しで桜の花が咲く季節となります。3月4月は別れの季節と新しい職員の入職の季節です。本格的にコロナは通常診療に組み込まれ、各種補助もなくなっていきます。また病院や診療所においては、6年に1回の医療・介護・福祉のトリプル改訂の年です。短冊も発布され、ここから医療機関は対応に奔走する時期となるでしょう。今まで以上に、「地域連携」が重要なフェーズになっていきます。そこで今回は、当院の循環器病センターでの取り組みと、診療実績、対応可能な領域をご紹介します。当院で診療可能な領域は拡大しています。「地域になくてはならない病院」になるために、より一層精進してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



副院長 地域医療総合支援センター長
総合診療科 部長

安田 考志 Takashi Yasuda



医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院

地域医療総合支援センター [月～金曜日]9:00-17:30 [土曜日]9:00-17:00 [日・祝日]休み
TEL.078-681-6250 FAX.078-686-1802
〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1 TEL.078-681-6111(代表)



神戸百年記念病院
公式マスコットキャラクター

ヒャクペン



医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院

今回の特集では、2021年に設立された「循環器病センター」を取り上げます。当センターは、副センター長である水口幸生医師を中心に、「高度かつ最先端の循環器疾患治療の提供」を目指して、日々の治療に取り組んでいます。カテーテル治療を含む特殊治療や、希少難病に対する診療など、当センターの4つの特色を紹介します。



01 ロータブレーター・ダイヤモンドバック 特殊なカテーテル治療

虚血性心疾患のカテーテル治療において、特に石灰化が進んだ病変を対象にロータブレーターとダイヤモンドバックを導入しています。

■ロータブレーター

高度に石灰化した冠動脈において、バルーン治療が効果を示さず血流を改善できない状況では、ロータブレーター治療が適用されます。この方法では、ダイヤモンドの微粒子で覆われた回転する先端が毎分14万~20万回転し、高度に石灰化した冠動脈内のアテロームプラークを切削して血流を回復させることができます。

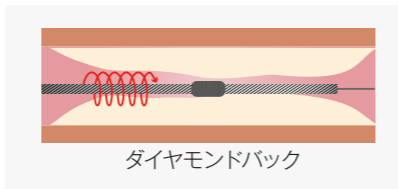
■ダイヤモンドバック

ダイヤモンドバックは、カテーテルの先端より数ミリメートル後方に位置する、ダイヤモンドでコーティングされたクラウンが装備されており、高速回転による遠心力で硬い石灰化を効率的に切削します。この技術は、ロータブレーター同様、動脈内空間を広げ、柔らかい組織への影響を最小限に抑え血管損傷リスクを減少させます。従来のロータブレーターと異なり、ダイヤモンドバックはその軌道回転によって石灰化部分を切削し、前進する際だけでなく、後退しながら削ることも可能という特徴があります。

■患者さんに適した治療法を

これらの特殊カテーテルを用いる治療は、一定症例数以上のカテーテル治療を行う施設でのみ可能であり、すべての病院で行えるわけではありません。

治療法の選択は患者さんの病変の特性に応じて行われ、より適した治療法を選択することで、石灰化病変に対するより効果的な治療成果を目指しています。



治療困難な硬い石灰化病変が好発する方
糖尿病患者や透析患者など

02 足首からのアプローチ 末梢動脈疾患に対する低侵襲治療

当センターでは、末梢動脈疾患に対する治療法として、足首からの低侵襲アプローチを採用しています。従来、鼠径部からのアプローチが主流でしたが、これには出血リスクが高く、長時間の安静が必要になることがあります。しかし、足首からのアプローチを用いることで、患者さんは手術直後から歩行が可能となり、回復期間が大幅に短縮されます。このような足首からのカテーテル治療を提供している医療機関は、現在、当地域ではまだ少ない状況です。



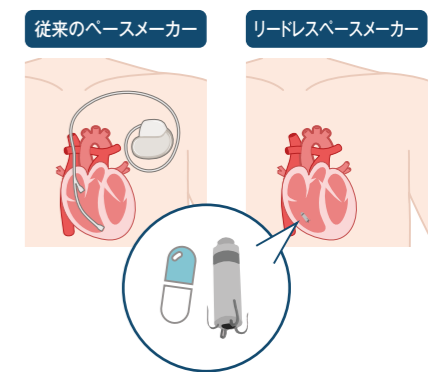
末梢動脈疾患に対する足首からのアプローチ

03 リードレスペースメーカー 不整脈に対する低侵襲治療

リードレスペースメーカーは、心臓のリズムを調整するために設計された先進的な医療機器で、2017年9月から日本で保険適用され使用が可能になりました。当センターでは、この植込み手術を行うことが可能です。

従来のペースメーカーと異なり、リードレスペースメーカーは電極線を使用せずに小型デバイスを心臓に直接植込むことで、リードに関連する合併症のリスクを軽減し、患者さんの生活の質を向上させます。当センターで手術を受けた患者さんからは、体への違和感がなく快適に過ごせると高い評価をいただいております。

また、これまでの機器は心室ペーシング (VVI/VVIR) 設定に限定されたペーシングモードでしたが、当院で導入された最新機種はVDDモードも搭載しています。このため、より多くの患者さんに合わせた選択肢を提供できるようになりました。



カプセル型をした容積1ccほどの本体の中に電池と回路が入っています。

04 「中性脂肪蓄積心筋血管症 (TGCV)」 希少難病の診断

循環器病センター副センター長の水口医師は、希少難病である「中性脂肪蓄積心筋血管症 (以下、TGCV)」の診断経験があり、正しい知識を広めるためにさまざまな取り組みを行っています。

TGCVは、血液中の中性脂肪に問題がなくても、中性脂肪を細胞内で分解する酵素の異常があるため、細胞内に中性脂肪が蓄積する病気です。血液検査では中性脂肪が高くないため、診断が難しいのが特徴です。この疾患が進行する

と、血管や心筋に中性脂肪が蓄積し、血管の狭窄や心不全が発症する可能性があります。推定潜在患者数4~5万人のところ、これまで診断された患者さんは600人程度にすぎず、多くの方が診断されずにいると考えられます。*1 また、糖尿病の合併症や閉塞性動脈硬化症とも関連があるといわれています。新しい治療薬の開発や臨床試験が進行中ですので、将来的には、治療薬が登場するかもしれません。治療に関する知識はまだ限られていますが、認知度は着実に高まっています。

「循環器病センターの設立から現在まで」

私たちは循環器病センターを設立し、初期は試行錯誤がありましたが、スタッフの協力と努力の結果、緊急性を要する症例への対応能力も含め、優れたチームワークを築くことができました。

特にカテーテル治療に関しては、初年度は約50件の治療を行いました。2年目にはその数が2倍以上に増加し、今年度に入ってからは120~130件の症例に対応するなど、着実に成長を遂げています。このような成果は、近隣のクリニックさまからのご紹介が増えたことも大きな要因であり、当センターがカテーテル治療を提供できる施設としての地位を確立しつつあることを嬉しく思います。

当センターでは、ご紹介いただいた患者さんに対して迅速かつ適切な検査と治療を行い、患者さんを可能な限り迅速にご紹介いただいたクリニックさまへ戻せるよう最大限努めております。今後も循環器病センターへの変わらぬご支援と信頼を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

循環器内科 部長
循環器病センター
副センター長
水口 幸生 医師



副院長
循環器病センター
センター長
鈴木 秀治
Shuji Suzuki
大阪医科大学卒
・日本内科学会認定内科医
・日本循環器学会認定循環器専門医
・臨床研修指導医・博士（医学）



西出 征司
Seiji Nishide
帝京大学卒
・日本内科学会内科認定医
・日本循環器学会循環器専門医
・医学博士・臨床研修指導医



循環器内科 部長
循環器病センター
副センター長
水口 幸生
Yukio Mizuguchi
香川大学卒
・日本内科学会総合内科専門医
・日本循環器学会専門医
・日本超音波医学会専門医・指導医
・日本心臓インターベンション学会専門医
・心臓リハビリテーション指導士

●火曜日午後予約制
胸痛外来
●第1,3週の土曜日午前
不整脈

	月	火	水	木	金	土
午前 8:00~ 11:45	鈴木 秀治	水口 幸生	西出 征司	水口 幸生	西出 征司	水口 幸生 第1・3・5週 鈴木 秀治 第2・4週 垣下 幹夫 第1・3週
午後	—	予約制 鈴木 秀治	—	—	—	—

★救急患者の受け入れは、診療時間にかかわらず、24時間体制で行っております。